

# モニターレポート（9月報告）

## 【報告内容①】

今年は台風が多く上陸していますが、台風時には、どのくらい川の水位が上昇したら避難したら良いのでしょうか。

## 【事務所からのコメント】

ご質問の避難する際の河川水位の上昇については、一概に何cmというものはありません。ただし阿賀野川では、特定の場所でそのような水位を設定しており、河川の水位を観測している施設（「水位観測所」）で、氾濫危険水位など、避難に関する基準水位が設定されているところもあります。

この水位は、住民の方々の避難判断の参考となるもので、阿賀野川下流域は、満願寺出張所近くにあり満願寺水位観測所となり、避難判断水位は左岸 8.00m、右岸 7.80m と設定されています。

新潟市からの避難情報等を収集する他、自ら水位の情報などを確認することが大事です。

## 【報告内容②】

気温がだんだん下り秋らしくなり、川面にはカモの数が増え、休日ともなればハゼ釣りを楽しむ人の姿が見受けられるようになりました。

サケの定置が設置され、刺し網漁も10月1日から始まります。

## 【事務所からのコメント】

阿賀野川のサケ漁については、10月1日から開始されると漁協組合等からも情報をいただいています。

ただし、今年は河口の砂州の発達が近年にない形となっており、治水上の問題や利用者への影響を考慮し、随時掘削を行っておりますが、なかなか対応が難しく、一般の利用者や漁業に影響が出ないことを願っております。

# モニターレポート（9月報告）

## 【報告内容③】

休日の公園利用状況を見るため、日曜日に沢海床固め公園を訪れました。公園内は多くの家族連れやグループで賑わっていました。第一床固めの中央に流木らしき木が横倒しになっていました。

付近の川べりの小道はきれいに整備されていました。小型のボートが陸に揚げてありましたが、許可済みのものかが気になりました。

## 【事務所からのコメント】

第一床固めの中央に横倒しになっている木が流木か、とのご質問ですが、ご推察のとおり流木です。

床固めを超えるような洪水となった場合、床固めに引っかかったり、今まで引っかかっていたものが下流に流されたりしています。このように横倒しになった流木を見ると、水の力のすごさを改めて思い知らされます。

また陸に揚がっていたボートですが、こちらは許可済みではありません。放置されている船舶は、洪水時に流されて護岸等を損傷する恐れがあるため、日常の河川巡視などで状況を確認しながら、長期間放置されており所有者が特定できないものは廃棄などの対応をしています。

## 【報告内容④】

9月に金屋で行われたあきはまつりに行ってきました。当日は朝から雨が降り、芝の上はだいぶぬかるんでいましたが、家族連れが飲食を楽しんでいたり、各PRコーナーで遊ぶなど、それぞれ思い思いに楽しんでいたようです。

その中に阿賀野川河川事務所の事業PRコーナーがあり、地震や豪雨を体験出来る特別車両は賑わっていました。また、パネル展示や浸水想定区域図のクリアファイルなどがあり、イベントついでに水害にも意識が向くようなブースだと思いました。クリアファイルについては、もっと沢山の人に配布し、活用していくと良いと思いました。

## 【事務所からのコメント】

「阿賀野川あきはまつり」に参加されての報告、ありがとうございます。当日は雨模様でしたが花火大会も含め無事開催され、参加された皆さんが楽しんでおられたようで何よりです。

当所のPRコーナーにありましたクリアファイルについてのご意見につきまして、当所としても同じ意見です。記者発表等をしたり、ホームページ上で配布箇所を紹介しておりますので、是非参照して頂ければと思います。